

第52回 四国中学校総合体育大会 (ソフトボール競技) 大会速報

【 男子 】 1 回戦 A球場(松山中央公園北) 第 2 試合



<鳴教附属中 高島 宏司朗の力感あふれる投球>



<三木中 最後まで明るく声を掛け合う三木中ベンチ>

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鳴教大附属中(徳島県)	2	0	2	0	9					13
三木中(香川県)	0	0	1	0	0					1

【バッテリー】 <先攻>(鳴) ○ 高島 宏司朗、笠井 俊史郎-立石 雄祐大

<後攻>(三) ● 六車 隆寛、百田 海里-松田 椋汰

【長 打】 <本塁打>

<三塁打> 高木 良唯(三)

<二塁打> 菰渕 博貴(三)、若山 泰三(鳴)、高島 宏司朗(鳴)

【戦 評】

“猛打爆発、鳴門教育大学附属中 好発進”

“笑顔の三木中、さわやかに散る”

試合は初回から動いた。附属中先頭の小松のバントヒットを足掛かりに2死満塁とし、6番立石のレフト前ヒットで2点を先取。3回にも1死後、笠井のバントヒットから、坂口、八幡の連打で2点追加。試合を有利に進めた。三巡目からタイミングが合い始めた打線が爆発。5回に大量9点を挙げ、力でねじ伏せた。

三木中は、失点にも明るく仲間を励まし続け、最後まであきらめずにプレーした。2本の長打で意地を見せた。

【勝者インタビュー】

監督談

相手投手の緩い球に苦しんだが、相手の守備位置を見て、左バッターにはバントを指示した。反省点の多いゲームだったが、自分たちのソフトボールができるように確認したい。

主将談

最初は緊張してフライが上がっていたが、途中からたたくことを意識したのが良かった。次戦もソフトボールを楽しむ気持ちで頑張りたい。

若人よ 蒼き四国で **翹**くなれ!